

決意新たに船出

県自閉症協会

水戸で設立総会

県自閉症協会（高山孝信会長、会員二百二十六人）の設立総会が一日、水戸市赤塚一丁目の市福祉ボランティア会館で開かれ、会員らが決意を新たに船出した。

同会は保護者十七人による県自閉症児親の会として一九七四年に発足。日本自閉症協会の組織変革に伴い、同協会県支部から事務局体制を整えた独立の県協会へと移行した。

総会には会員、来賓ら約五十人が出席。高山会

長は「自閉症児・者が気持ちよく暮らしていける地域づくりを目指し、親や支援者の療育力、相談力を強化したい」とあいさつ。

本年度の事業計画などを承認した後、宮本信也筑波大大学院教授が、「『自閉』特性のある子供たちの理解と対応」と題し、講演した。

県協会は自閉症児童を持つ保護者の悩み相談や会報の発行、児童向けのパーカッション体験教室

県自閉症協会設立総会であいさつする高山孝信会長。水戸市福祉ボランティア会館



などの活動に取り組んでいる。

八月九、十日に福島県いわき市で夏期療育キャンプ、十月二十六日に講演会をつくば市で計画している。

入会や催しの参加希望

などの問い合わせは県自閉症協会事務局 ☎029-9(62)28200へ。